

## 資料-1 「徳島大学技術士会」創設趣意書

徳島大学は、新制大学として70年、その前身の高専、医専時代からですと100年の長きに亘り、我が国の高等教育・研究開発の中核拠点として、国内外の発展に大きく貢献しています。6万人を超える卒業生は、産学官の多方面で活躍されています。なかでも、本学出身の「技術士」諸氏は、企業や団体における技術者のリーダーあるいは経営層として、業績向上や業界の発展、地域の課題解決に顕著な活躍をされています。また、出前授業、市民向けセミナー・講演会、資格取得支援活動、事前防災活動などの社会貢献活動についても高い評価を得ています。この活動の中心メンバーが、本学出身の技術士達であることは、知られていません。徳島大学出身の技術士の人数、分野、名簿も分からず、組織化もされていませんし、そもそも技術士の多くが企業内技術士であることや、技術士自体が世間に広く知られていないことも潜在要因であり、誠に残念なことです。

「技術士」は、我が国の科学技術における最高位の国家資格であります。専門的学識、問題解決能力、マネジメント能力、リーダーシップ、倫理観等の資質能力を有しており、取得後も継続研鑽をかかさず、技術や社会経済の高度化、多様化、国際化に備え、対処し、成果を上げています。産業界でその活躍が大いに期待され、かつ評価されていますし、特にこの資質能力や現在の活躍はまさに、本学の教育や社会貢献の基本方針を体現しているものであります。しかしながら、技術士の活躍や研鑽の場は限定的であり、特に本学においては、これまで、活躍の場はほとんどなく、残念でした。技術士と本学及び同窓会関係の諸活動とが連携・協働ができれば、相互にきつといい成果が生まれるものと確信しています。本学には学部学科を横断して全学部出身者が個人の属性により集まる同窓クラスターはありません。「技術士」を属性とした同窓クラスターが集まれば、本学には、初めてのこととなり、同窓会の組織や活動領域等、新たな可能性を示唆することにも貢献出来ることとなります。

京都大、東工大等、国内39校には大学技術士会が設立され、会員の相互研鑽や大学教育との連携・支援、資格取得支援、同窓会との連携、大学技術士会間の交流など、活発な活動が展開されています。なお、四国ではまだ設立された大学はありません。

そこで、徳島大学におきましても、同窓の技術士会を創設することといたしました。

本会の理念は、徳島大学の卒業生・在校生・教職員である技術士・技術士補・修習技術者などが中心となり、知識と知恵を結集し、徳島大学の発展ならびに地域や社会に貢献し続けることであります。

この理念に到達するためのミッションは、次のとおりです。

- ・徳島大学同窓の技術士の全国的なネットワークを構築します。海外へも広がっていきます。
- ・会員の技術研鑽や会員相互の親睦や異なる技術分野の交流を深めます。
- ・徳島大学の学生や教職員と交流・協働できる場を創設して、大学の研究開発や教育との連携・支援、JABEE 支援、会員の能力開発を支援します。
- ・教職員と同窓生の叡智を結集して技術課題、経営課題、持続可能な地域社会や環境づくりの課題に対して、提案、助言が出来るように継続的に取り組みます。
- ・徳島大学、同窓会、(公社)日本技術士会や他大学技術士会、関係団体等、多様な機関・団体との交流、連携により、本会活動の多様性と活性を図ります。また、技術士制度の普及や資格取得を支援します。

徳島大学工学部は、次年度が創立100周年を迎えます。これを機に徳島大学技術士会を創設して、母校の発展、ならびに、科学技術創造立国の実現に寄与したいとの強い思いであります。

2021年9月21日

「徳島大学技術士会」創設発起人会

## 資料－2 「徳島大学技術士会」の概要

徳島大学技術士会 創設発起人会

### 1. 名称

「徳島大学技術士会」

### 2. 設立の趣意、目的と活動

・趣意は、別添「趣意書」のとおり。

・本会の目的と活動については、会則の目的（第2条）と活動（第3条）を抜粋して掲げる。

（目的）

第2条 本会は次の事項を目的とする。

- (1) 会員相互の親睦を深める。
- (2) 徳島大学の教育・研究活動や同窓会活動に協力し、徳島大学の発展に貢献する。
- (3) 会員の技術・資質の向上と本会の発展を図る。
- (4) 技術士を志す学生・卒業生に対する支援および助言を行う。
- (5) 地域および社会への技術的支援・助言を行う。

（活動）

第3条 本会は第2条に定めた目的を達成するために次の活動を行う。

- (1) 会員の技術・資質の向上のための研修会・交流会・見学会・講演会等の開催
- (2) 徳島大学の教育・研究ならびに研修・就職に対する協力・支援
- (3) 会員相互の親睦、情報交換を図るための親睦会の開催
- (4) 技術士受験希望者のための講習およびアドバイス
- (5) 「日本技術士会」や他の大学技術士会が実施する活動に対する支援活動
- (6) 徳島大学卒業生に対する技術および技術経営に関する助言および指導
- (7) その他本会の目的を達成するために必要な活動

### 3. 会則

①上記①の会則(案)について、活動、会員資格、会費、役員、事務局等、継続検討していく所存。最終的には、設立時総会において、審議、承認をいただく予定である。

### 4. 会員の要件

#### 1) 属性

- ①個人：徳島大学全学部の卒業生、在校生、教職員（退職者含む）、退学者
- ②法人、団体：反社会勢力を排除する。

#### 2) 資格

- ①個人会員：技術士、技術士補、修習技術者、JABEE、ならびに本会趣旨の賛同者
- ②法人、団体は、本会趣旨に賛同し、かつ本会幹事会が認めたもの

#### 3) その他

- ①居住地は国内外を問わない。勤務先、就業状態は問わない。
- ②(公社)日本技術士会の会員か否かは不問。

## 5. 会計、財政

- ① 会員の会費や寄付金を主たる活動原資(収入)とする。
- ② 徳島大学や同窓会とは財政上、独立を原則とする。
- ③ 役員等は無報酬。
- ④ 暫くの間は、催事ごとに参加費を徴収して運営することとし、入会費と年会費は無料と想定。

## 6. 帰属関係

### 1) 大学や同窓会との関係

- ①人事上、財政上ともに独立した組織である。特別な帰属関係はない。
- ②名簿やH.P、会報などの既存ストックについては、経済的・合理的事由により、関係機関の許可をいただいて、利活用させていただきたい。
- ③大学同窓会の組織体系が万全とは思えないので、今後、能動的・継続的に改善検討する。

### 2) 関連団体

- ①「(公社)日本技術士会」及び「大学技術士会連絡協議会」(39校加盟)
  - ・登録を行うのみ。人事、財政上の措置は不要。活動は連携して行う。
  - ・大学技術士会連絡協議会所属の大学技術士会の概要 **(別添、「大学技術士会連絡協議会(39校の概要)」を参照)**
- ②大学技術士会、県技術士会、企業、団体、協会、学会 等
  - ・帰属関係なし。但し、相互協力・支援は惜しまない。

## 7. 組織規模

### 1) 個人会員規模は、100名程度以上を想定している。

現在、有資格者数を調査中であるが、有資格者のリストもなく難航中。

### 2) 広域ネットワーク化と多様性

地域や業種、就業形態等に拘らず、広く、国内外の広域ネットワーク化ならびに多様な人材、技術分野が集う組織を志向する。

## 8. 事務局

- 1) 本会の事務局はサーバー内に置く。また、連絡先は、担当役員個人に置く(検討中)。
- 2) 連絡案内、情報交換は、原則、オンライン、Eメールで行う。

## 9. 設立の工程表

- ①・別添の「工程表」を参照。
- ②・ **令和4年4月初旬の設立を目途に活動中。**

## 10. 発起人

- ①・別添の「発起人名簿」を参照。
- ②・令和4年12月31日現在、19名。

「徳島大学技術士会」創設発起人  
坂東 武（徳島大学工業会理事長）

初秋の候、皆様には、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび、「徳島大学技術士会」を創設することといたしました。本会は、会員相互の親睦、交流、研鑽、能力開発と併せて母校徳島大学の教育研究への協力、支援と発展に寄与し、もって我が国の科学技術の発展ならびに地域や社会に貢献することを目的としています。趣意書は別紙の通りであります。

本紙では、設立の経緯（§1）、今後の予定（§2）をご報告しまして、最後に貴殿へのご協力・ご支援のお願い（§3）をいたします。徳島大学技術士会創設にご賛同いただきますとともに、発起人会に是非とも、入会していただきたく、ご案内いたしました。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

## §1. 経緯、経過、今後の予定

### 1) 経緯

STEP1：令和3年5月30日の徳島大学工業会近畿支部連合会において、「徳島大学技術士会」の創設が提案された。

STEP2：工業会理事長主導で理事長会において、設立する方向を意志決定。  
理事長会で審議をスタート。[目的、活動、組織、帰属、進め方 等]

STEP3：7月6日 理工学部長に趣旨説明と協議。本会設立に特段の障害なきことを確認。

7月9日 大学本部総務部同窓生・基金室に趣旨説明と協議。設立に障害なきことを確認。

8～9月 発起人募集(9/21 現在:18名)、大学本部総務部と協議、名義使用許可申請。

9月14日 大学本部から、「徳島大学」の名義使用許可書を受領。

### 2) 大学技術士会とは

#### (1) 国内設置状況

- 1.国内の39校が出身校別技術士会として(公社)日本技術士会に登録されています。また「大学技術士会連絡協議会」を作り、連携している。【別紙参照】
- 2.会員数規模は概ね、数十人から8百人程度まで。
- 3.創設できれば、徳島大学が中国・四国地方の大学では初となります。

#### (2) 目的、活動内容

目的は、母校の発展、地域の発展、科学技術の発展、会員の親睦・交流・研鑽等です。活動内容は、様々ですが、概ね、会員の交流・親睦会、研究・技術系の講演会、学習会や見学会、社会貢献活動、大学や同窓会への支援・協働、資格取得支援など。

### 3) 徳島大学技術士会の創設の事由(同窓会からの視点)

- 1.「技術士」、「科学技術」という新たなクラスター因子により、資格取得支援、実務や技術者倫理教育の支援、同業・異業種交流(学際・業際)、事業活動支援、他大学交流など、同窓会には、これまで出来なかったような活動領域の広がりが期待出来る。
2. 上記1より、同窓会活動の多様化や領域拡大、業際化、広域化などの活性や効果の顕在化ならびに同窓会員の資質・能力向上、技術・事業課題解決、に寄与することが期待できる。

3. これまで、同窓生の交流の機会が限られていました。卒年、学科、勤務地などの従来型クラスター因子とは異なる「技術士」が、新たな横串となって会員を繋ぐこととなり、将来的には、士業会や専門部会をはじめ起業や共同事業などの更なる同窓会の深化、発展が期待できる。
4. 同窓の多くは、科学技術者として、国内外の多分野で活躍されており、仲間を結ぶに相応しい「絆、縁、パイプ」へのニーズは潜在的にありました。この「絆」として、「技術士」は相応しく、また付加価値は高いと考えます。

## § 2. 今後の予定

### 1) 懸案事項の検討・決定

懸案の下記事項について、今後、発起人会を中心に検討する。

#### (1) 大学、学部、同窓会との関係の整理

1. 大学本部から「徳島大学」の名義使用許可を得たので(9/14)、「徳島大学技術士会」を名乗る。大学本部や理工学部からは活動や組織について好意的、協力的な意見をいただいている。
2. 大学本部、学部、同窓会それぞれと、帰属性や人的、経済的な関係を明確にしておく必要がある。本技術士会と大学本部・学部との関係については、人事、財政は独立。また、同窓会とも原則、独立であることが基本方針である。但し、大学、学部、同窓会とは、活動の連携・協働を行うことは自明。また、インフラストック(施設、名簿、ネットワーク、Web 等)を本会と相互に利活用させていただく所存。
3. 同窓会とは、組織的には独立しているが、上記の通り、連携・協働が不可欠に付き、工業会の12月定例理事会で報告する予定(報告済)。

#### (2) 発起人会を設置、増強して、諸種の準備を進める。

1. 会員募集・・・会員は全学を対象とする。有資格者は工学部卒、建設系が多数。有資格者の名簿、情報が限定的であるため、有資格者の名簿づくりは難航中です。
2. 会の組織、執行体制づくり・・・事務局の所在、執行体制、役割分担、人選 等。
3. 会則、会費、財源、運営方針の作成
4. 活動内容の具体化・・・事業計画書、活動計画書の作成

### 2) 行程計画

令和4年4月初旬の創立を目標としています。

なお、工業会総会は令和4年5月14日、工学部100周年記念式典は令和4年11月3日です。

## § 3. ご協力・ご支援のお願い

本会創設に向けて、取り組んでいるところでありますが、創設ならびにその後の持続的な活動を行って行く上で、御社ならびに貴殿のご協力、ご支援が是非とも必要であります。

つきましては、下記事項についてご協力・ご支援をお願い申し上げます。

- ① 本会「徳島大学技術士会」にご入会下さい。
- ② 技術士資格をお持ちの方の名簿を作成したいと思っています。入会の有無にかかわらず、徳島大学出身の有資格者の情報(氏名、部門等)をお教え下さい。お願いします。
- ③ 今後の進捗状況報告、また意見伺いやお願い等のご案内を差し上げますので、ご査収いただきますとともにご協力下さいますようお願いいたします。